第4回まちづくり委員会を開催

第５次芳賀町振興計画後期計画（案）を協議

２月８日、第４回まちづくり委員会が農業者トレーニングセンターで開かれ、芳賀町第５次振興計画後期計画の協議が行われました。

まちづくり委員会は、まちづくり基本条例に基づき町民主体のまちづくりを進めるために設置されたものです。

委員33名が委嘱され、昨年６月にスタート。全体会議を４回、分野別会議を２回実施し、振興計画後期計画の策定に参画しています。

今後は、策定された計画がどのように進められているかをチェックする進行管理の役割も担います。

協議された後期計画（案）は、５月ごろに意見提出制度（パブリックコメント）で、町民の皆さまからご意見をいただく予定にしています。

問企画課企画調整係【☎028(677)6012】

▲H22.6.21
まちづくり講演会

▲H22.7.27
第1回委員会

▲H22.10.4
第２回委員会

▲H22.11.29
第３回委員会

まちづくり委員会副会長
行財政分野リーダー
高橋賢治さん

この度まちづくり委員として後期５カ年計画の立案に参加させていただき、行政の苦労を知ることができました。半面自分の将来への不安も多く感じております。

世界同時不況から世の中の方向性も大きく変化しております。日本の少子化も芳賀町でも例外ではなく、歳入は今後も減少傾向となることが予測されます。住み良い町も言葉だけにならないように限られた財源で町民満足度を維持向上させるには、町民自ら行政に参加して行政実施計画をチェックすることが大切です。

皆さんも関心を持ち意見・要望を行政に反映するようにしていきましょう。

まちづくり委員会会長
産業経済分野リーダー
岡田　武さん

産業経済分野は、農業・商業・工業の振興について、６名の委員で振興計画後期計画について検討を進めてきました。農業振興では①誇れる町の名品（ブランド品）づくり。②農と商のＰＲ・連携強化のための「道の駅」の有機的活用。商業振興については①人の流れを変えるための道路（南部・北部・道の駅トライアングル構想）②メディア利用による町民へのＰＲの強化。工業振興については、①誘致企業への町民雇用促進の強化などを提言としてまとめました。

現今の政治、経済が混迷する中での検討は大変苦労しましたが、唯一、強く意識に残ったことは「まちづくりは行政・議会・町民がそれぞれ考え、行動し、協働で進めることである」ということでした。

保健医療福祉分野リーダー
廣田忠造さん

町の担当者から町の諸施策について説明を受け、各分野についてきめ細かに施策が取られていることを改めて知りました。

これらの施策が完全に実行されれば、問題はないと思われました。しかし、これらの施策が本当に必要とされる人々に届いているかどうかが問題です。これらの人々は、交通手段、情報収集の弱者が多く、民生委員の努力にも限界があります。

近年、他人のことにあまり関与しないことが美徳とされる風潮がありますが、もっと地域のコミュニケーションを活発化させて、町の施策を必要とされる人々とどう結びつけていくかを検討する必要があると思われます。

教育文化分野リーダー
大根田昭義さん

与能地区自治会から推薦され、振興計画後期計画の策定に携わることとなり、大変な仕事を引き受けたものと後悔の念にかられているところです。

施策は「学校教育の充実」「生涯学習の充実」「生涯スポーツの充実」「人権の尊重」「文化活動の充実」「青少年の健全育成」です。

教育文化分野について、今後とも町執行部、委員と協議し、よりよい結果が出るよう微力ながら努力していきますので、町民の皆さまからのご意見をどんどんいただきたいと思います。

未来の子どもたちのために、また、明るい芳賀町のためにともに協力してまいりましょう。

自然環境分野リーダー
手塚孝夫さん

今回、振興計画後期計画の策定に参加し、環境対策課の職員とまちづくり委員で意見交換することができました。現在の状況を聞き、委員からの要望を出しました。

①生ごみ回収ボックスの清掃がしやすい環境の確保②回収場所を減らしても整備の整った環境にすべき③ごみステーションに掲示板を設置④庭木の剪定枝葉の回収⑤エコキャップ運動の実施⑥公共施設にもっと太陽光発電システムを設置といった意見・要望を出すことができました。

これからは、こういった意見の一つ一つをかみくだきながら、実践に向けて動き出してほしいと思います。

都市基盤分野リーダー
高松和夫さん

安易な気持ちで委員を引き受け、芳賀町の将来に影響する重要な協議と気付いた時は不安もありましたが、活発な協議ができたと思います。

協議した都市基盤分野の施策は、「計画的なまちづくりの推進」、「安全安心なまちづくりの推進」など６施策です。

芳賀町振興計画の都市基盤分野が目指す「安全で住みやすく、心地よいまち」を実現するために町職員によって事前に十分検討されていましたが、一町民として別の視点から意見を述べさせていただきました。

ご一緒に検討した委員の皆さん、大変お世話になりました。

まちづくり委員（敬称略）

○教育文化分野
大根田昭義、小林和男、綱川みね子、國井静江、関口正人

○保健医療福祉分野
廣田忠造、荒井佐一郎、阿久津喜美子、小筆公子、直井八重子

○都市基盤分野
高松和夫、君島俊一、小林　透、大和田朝美

○自然環境分野
手塚孝夫、北條正美、藤本彩代子、岡田由美子

○産業経済分野
岡田　武、関本幸一、直井　功、丸田啓三、小林正志、齋藤恭子

○地域コミュニティ分野
駿河富夫、高松イク、関口和枝、阿久津敬夫、荒井正勝

○行財政分野
高橋賢治、登立　悟、坪川幹雄、廣木初江

地域コミュニティ分野リーダー
駿河富夫さん

私たちの分野には「情報提供の充実」「町民参画の推進」「地域コミュニティの充実」の３つの施策があります。これらの内容を行政と町民が一体で取り組んでいくことが最も大切だと思います。

この分野のメンバー５人が重点として上げた項目は①町民が町行政に関心を持ち行動する②まちづくりは町民主体で行動し、まとめる③公益性ボランティア活動を活発化するの３つです。

このような内容で具体的に展開することを意思統一しました。また、町民一人一人が一緒になって活動する必要があります。

今後は、平成23年度から放映される芳賀チャンネルの内容を吟味し、放映することが最も必要で大切です。

皆さんも楽しんで協力してください。